

体育・スポーツの「リテラシー」を 形成する体育理論の授業づくり



伊藤嘉人（愛知支部・岐阜協立大学）

1 なぜ「体育理論」（教室でする体育） を行うのか？

子どもたちは様々なスポーツに関わる情報の中で生活をしています。子どもたちを取り巻くスポーツに関わる環境は、インターネットやテレビなどのメディアで加工された情報や学校内外のスポーツ活動など様々です。その中には、偏見な情報や経験から子どもたちの「固定的なスポーツ観」が形成されていると言っても過言ではありません。

様々なスポーツ観をもつ子どもたちを前に、私たちはどのような教育実践を展開することができるのでしょうか。本分科会の「体育理論（教室でする体育）」の学習は、子どもたちの様々なスポーツ観を「ゆさぶり」、「スポーツの変革・創造のための学力」のために欠かすことのできないスポーツの文化的な認識を育てる授業と言えます。つまり、体育の学習を運動・スポーツを通して「できる」「できない」「楽しいかどうか」などの子どもの日常生活の感覚の段階だけでなく、スポーツ文化の深い学びを通して、スポーツの見方・考え方を育てる学習を展開していくのです。

2 「体育理論」の授業を構想する教師 の課題意識

子どもたちにとっての体育の授業のイメージは、グラウンドや体育館で身体を動かすことであり、また運動欲求の高い子どもたちにとっての教室での体育の学びは、我慢を強いるものとなるでしょう。「体育理論」の学習だけでなく、全ての授業において、子どもたち自身が学ぶ意味や、その必要性を実感し、さらに教師自身が何のための「知識」かを問わない限り、子どもたちにとっての「生きて働く知識」は実現しないと言えます。

学校体育研究同志会では、これまでも多くの実践家が「学校体育は何を教える教科なのか」と問いながら、学校体育で学んだ知識が学校の内・外で発揮される「自立性」や「主体性」をどのように育てて行くのかと考えながら実践研究を積み重ねてきました。

その中でも「体育理論」の示唆的な実践を展開しているのが、中学校保健体育科教師の小山吉明です。小山は、オリンピック・パラリンピック（以下、オリ・パラ）の授業をつくるにあたって、口囲みのように述べています。

「体育理論」の実践を展開する上で、「スポーツの理想と現実の姿から今後を考えていく」「学んだことを日々のスポーツ活動に生かしていく」と指摘する

小山の視点は、子どもたちの発達課題と向き合う極めて実践的課題であると言えます。

オリンピックやスポーツを賛美するだけの学習にするのではなく、理想と現実の姿を子どもたちに示し、今後の在り方を考えさせていくことを大切にしたい。オリンピックの理想はスポーツの理想であり、現実のオリンピック（スポーツ）の在り方を抜本的に考え直したり、そこで学んだことを日々のスポーツ活動にも生かしていきたい。そうした子どもたちを育てていくことが、私たちの仕事であると考えている。（小山，2016）

3 体育・スポーツの「リテラシー」を形成する「体育理論」の授業を創造する

2020年にオリ・パラ東京大会が迫り、私たちを取り巻くオリ・パラに関する情報は、希望を描く「光」だけでなく、課題・問題などの「影」もあり様々です。メディアが報道するようにオリ・パラには様々な議論を生む「問い」が存在しています。今、学校教育において子どもたちがオリパラについて深く考える「リテラシー」を形成する教育実践が求められています。

授業における「リテラシー」は、一面的な「リテラシー」から理想化するのではなく、その意味を問うことが必要であると言えます（松下，2007）。

下図は、小山のオリ・パラの授業実践をもとに作成した体育・スポーツの「リテラシー」を形成する「体育理論」の学

習展開図です。



「体育理論」の学習課題となる、スポーツ文化の「理想と現実」のテーマや問いは、「歴史・精神・事実」、「理由・背景」の学びや思考をめぐらせながら、未来のスポーツへの願いや創造へ向けた「未来・創造」への学びと向かう。この「未来・創造」の観点は、さらに新たな「テーマや問い」になり、このサイクルを通してスポーツ文化の知識、つまりリテラシーが形成されていくこととなります。

本分科会では、スポーツの技術的な内容だけでなく、文化的な内容も含めてトータルに学習する「体育理論」の授業実践を通して、運動・スポーツ文化の意味や意義、価値をつくり出す子どもたちを育てる授業を検討していきます。

〔主な参考文献〕

- ・伊藤嘉人（2018）体育理論の知識を“生きて働く”ものにするために、体育科教育，第66巻第8号，大修館書店
- ・出原泰明編著（2000）教室で体育：体育理論の授業づくり「小学校・中学校編」，創文企画
- ・小山吉明（2016）体育で学校を変えたい：中学校保健体育授業の創造，創文企画